



地方独立行政法人

神奈川県立病院機構

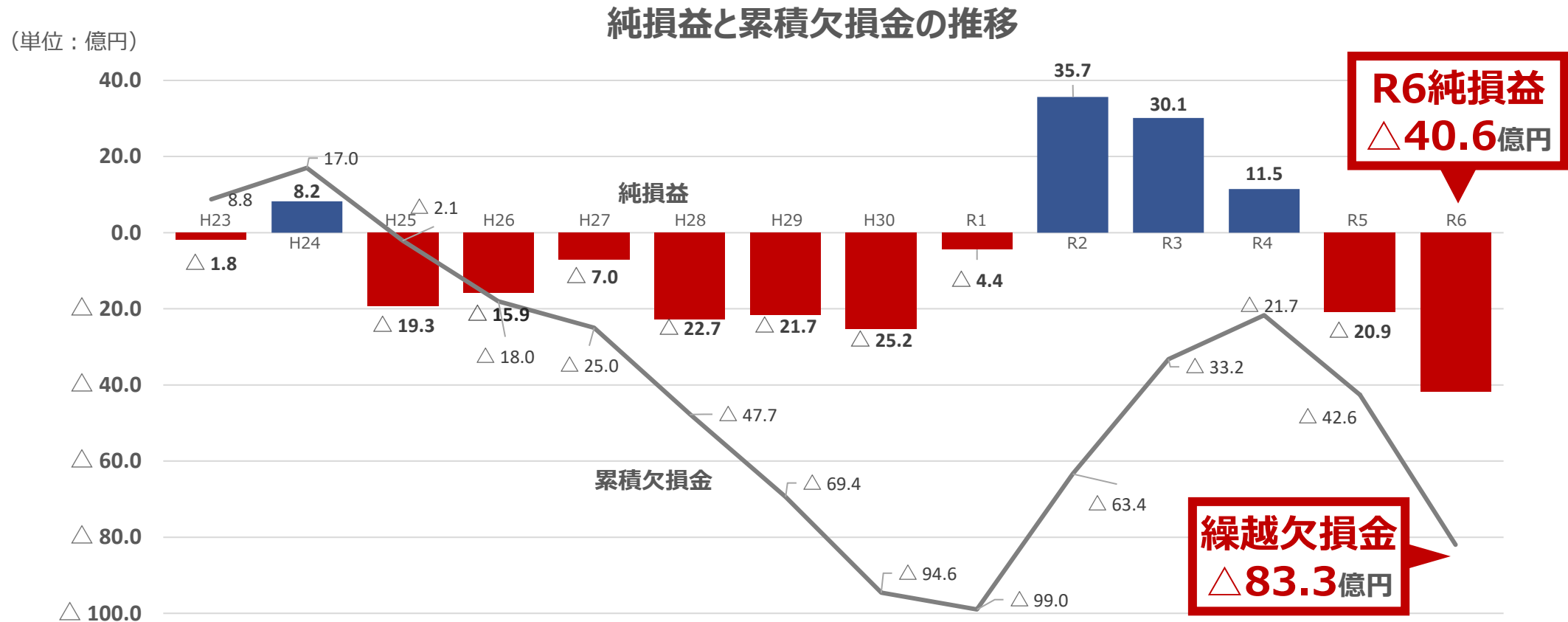
第7号議案

令和8年度予算編成要領（案）

神奈川県立病院機構

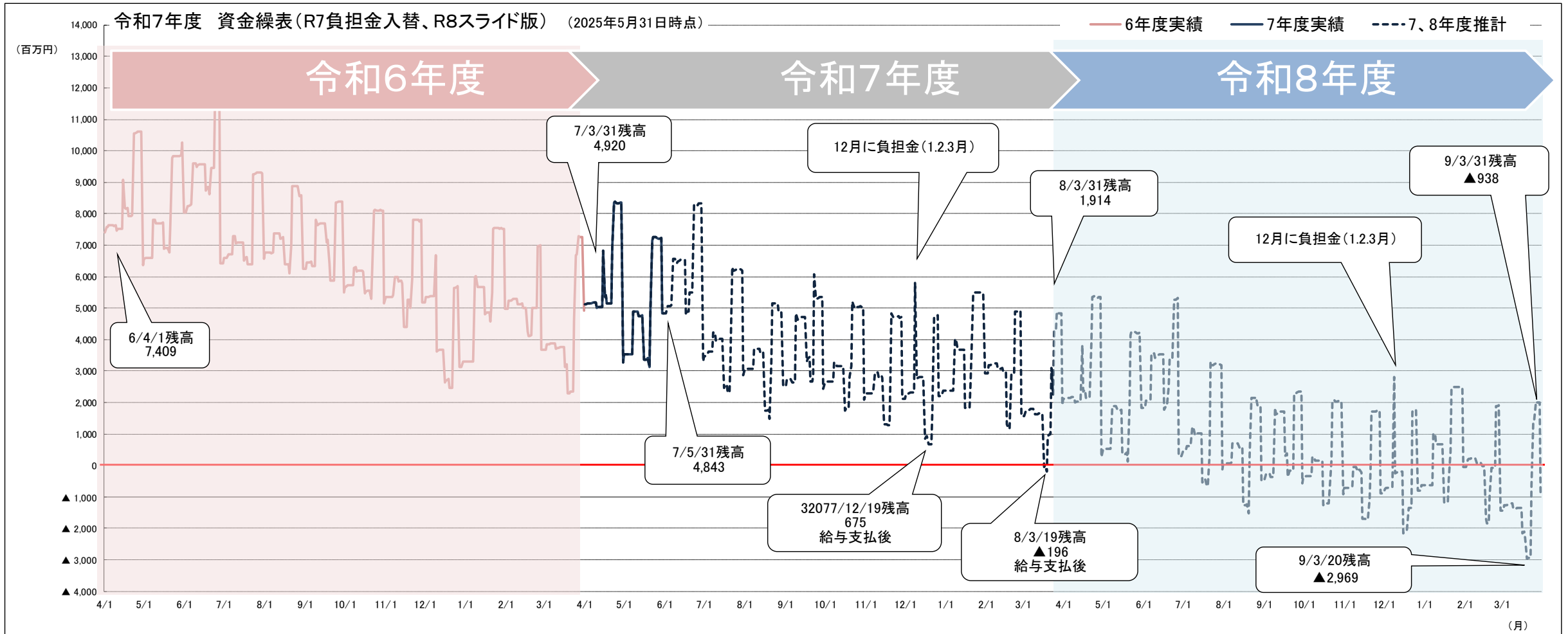
2025.6.24

1 - 1 直近の決算状況



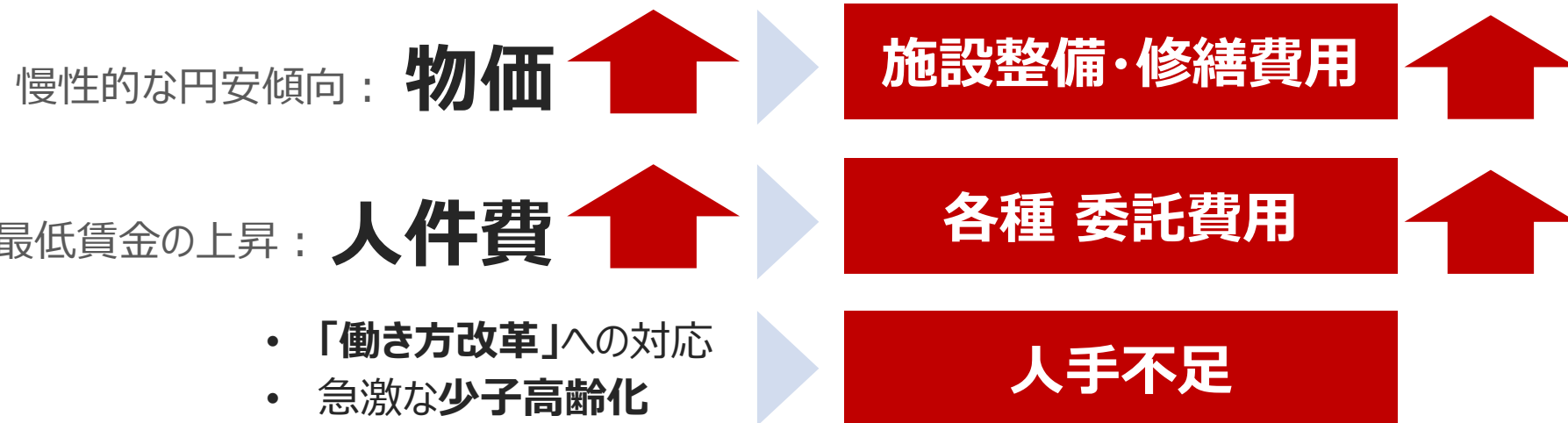
➡ **引き続き厳しい経営状況にあります**

1-2 資金繰表



➡ 運営費負担金を増額したものの、資金においても厳しい状況

2 決算の分析



医療提供に必要な一定の費用・投資は不可欠

- ・県立病院として医療を提供していくための高額医薬品・設備整備等
- ・業務改善や医療安全対策等を抜本的に進めて行くための医療DX

3-1 予算編成に当たっての考え方

基本方針

- ・ 第四期中期計画では、期間中に単年度決算の赤字解消を図り、繰越欠損金減少を図ることとしている（期間中に計画を見直す予定あり）
- ・ R8年度は計画2年目として、単年度決算赤字の縮減のため、令和6年度決算における医業損益(▲105億円)の改善を目指す予算の編成とする
- ・ 昨年度以降重点的に取り組んでいる業務改善の成果を順次反映する（全体最適化に向けた病床数の見直しなど）



収益

診療報酬の加算や患者増等につながる
具体的な取組に基づいて積算

例：地域医療機関との連携強化による
集患対策等



費用

- ・ 収益性がない
 - ・ 費用対効果が少ない
- 原則 ▶ **新規事業は認めない**

政策的な課題への対応等で新規事業・人員配置を検討する場合、優先順位を定め、費用対効果の明示、スクラップ・アンド・ビルドを実施。

補足

事業実施に際しては、積極的な寄附金、補助金等の確保に努めること

3 - 2 予算編成に当たっての考え方②



給与費

増員

原則、**増員しない**

必要な場合は、①②のいずれかを基に人事部と調整

- ① 増員分の給与費等を賄うために
減員する職員数・非常勤数等
- ② 増員により確実に達成できる**収益増**

減員

- ・ **非常勤職員等**の必要性を精査し適宜**減員**
- ・ 病床・病棟の見直しを検討している場合には、**病院運営に真に必要な定員**を精査し適宜**減員**
- ・ R6年度予算で増員したものについて、**増収効果が認められない場合**は、R8年度予算から**減員**



材料費等

材料費

- ・ **材料費比率**や**実績**を加味した
単価・数量の検討（適正な在庫管理による廃棄品の削減）
- ・ **同一用途物品**や**共同購入対象品目**の拡大の推進
- ・ **後発医薬品**の積極採用

光熱水費

- ・ 物価の高騰に伴う価格上昇の恐れ
増額時は**収支バランス**に留意

委託料 賃借料

- ・ 仕様見直し等、R6実績・R7契約額から**増額とならないよう努力**

保守・修繕

- ・ 施設修繕等アクションプランを基に
長寿命化と経営状況等を**総合的に勘案**



資本的支出

原則、アクションプランに基づいて実施
(実施に際しては、経営状況等も加味し総合的に判断)



医療機器

新規

- 原則、収益確保が見込めるもののみ要求すること
- 法定耐用年数の範囲内で、早期に費用回収する実現可能な稼働目標を策定

更新

- 収益性の確保困難なものは、仕様を改めるか、共同利用等を検討する